

平成30年度 第1回

鳥栖市文化財保護審議会

1. あいさつ
2. 議 題
 - (1) 平成29年度事業報告 …………… 1~8
 - (2) 平成30年度事業計画 …………… 9~10
 - (3) 現地視察
3. その他

日 時 平成30年7月27日(金)
午後2時～

場 所 鳥栖市役所南別館2階会議室

鳥 栖 市 教 育 委 員 会

1 平成29年度主要事業報告

(1)調査

- ① 埋蔵文化財包蔵地内における開発行為113件について事前審査を行い、うち53件の確認調査を実施し、10件の工事立会を実施した。
- ② 平成25年度に実施した村田三本松遺跡の発掘調査報告書と平成28年度の文化財事業の概要を記した文化財年報を作成した。また、平成28年度に実施した鳥栖駅舎の建築調査の調査報告書を刊行した。

(2)保護・管理

- ① 指定文化財(国1件、県2件、市他15件)等の管理を、所有者や地元団体に委託又は、補助を行い、保護に努めた。
- ② 文化財防災啓発の一環として、3月15日に今泉町天満神社境内で消防訓練を実施した。
〈写真A〉
- ③ 史跡等の管理として赤坂古墳等の下草刈りなどを行った。
- ④ 文化財整理室・収蔵庫の再編の一環として、古野町の文化財収蔵施設に民俗文化財と土器を集約し、古野町文化財収蔵展示室として文化財の公開を開始した。
- ⑤ 装飾古墳のヒャーガンサン古墳で、温湿度変化のデータ収集、目視による環境観察を行った(熊本県立装飾古墳館の協力により平成22年12月から継続)。

(3)普及・啓発

- ① 市重要文化財の268号機関車の公開を、九州鉄道OB会鳥栖支部と協働で、10月21日、21日、3月18日に行い、見学者は合計909人である。〈写真B〉
- ② 装飾古墳のヒャーガンサン古墳の公開を行い、年間約400人の見学があった。
- ③ 鳥栖のまちづくりと歴史・文化講座『鳥栖の集落と交通』5を全8回開講し、合計264名の参加があった。
- ④ 勝尾城筑紫氏遺跡を核とする地域の歴史と文化財を活かしたまちづくりを市民と協働して目指す「ふるさと元気塾」を開講し、ボランティアガイドの育成を行った。
- ⑤ 市民一般を対象に、市誌編纂のため収集した古文書をテキストにした古文書を解説する講座を開講し、延べ430人の参加があった。〈写真C〉
- ⑥ 鳥栖市立図書館において通年の文化財展示を行った。展示の内容については、下表のとおり。〈写真D〉

	タイトル	期間	内容
1	常設展示 御田舞と獅子舞	～6月1日(金)	四阿屋神社の御田舞と獅子舞を、伝統工芸の衣装着人形で紹介、展示
2	常設展示 とすのハニワ	6月21日(水) ～8月8日(火)	市内の古墳から出土した円筒埴輪・形象埴輪19点を展示
3	企画展示 昔、戦争があった -鳥栖空襲-	8月11日(金) ～9月22日(金)	米軍機による機銃掃射に関する資料や写真など鳥栖空襲に関する資料15点を展示
4	常設展示 国史跡 勝尾城筑紫氏遺跡 -よみがえる戦国時代の山城と城下町跡-	10月25日(水)～	勝尾城筑紫史跡の概要を記したパネルと出土遺物の展示

⑦ 小中学校教育における総合的な学習の支援を行い、安永田遺跡・柚比本村遺跡・赤坂古墳・剣塚古墳・ヒャーガサン古墳等の史跡を公開し、郷土の歴史・文化財や自然分野についての質問対応などを行った。

(4)勝尾城筑紫氏遺跡

- ① 史跡整備基本計画に基づき、筑紫氏館跡地区と葛籠城跡地区の土地公有化事業により、館跡地区で対象地10,151㎡のうち、9,870㎡(約97%)の公有化を行った。また、葛籠城跡地区では、対象地124,664㎡のうち、平成29年度に595㎡の公有化を行い、合計で101,565㎡(約82%)となった。
- ② 史跡の整備・管理の一環として、史跡内の樹木伐採・下草刈り・倒木の処理を行った。
- ③ 遺跡見学会を4月23日に行い、103名の参加があった。また秋の見学会は11月26日に行い、46名の参加があった。〈写真E〉
- ④ 勝尾城筑紫氏遺跡保存整備シンポジウムを2月18日に鳥栖市立図書館で大阪産業大学市村研究室との共催により開催し、89人の参加があった。〈写真F〉

(5)会議

- ① 文化財保護審議会は、第1回を5月31日に開催し、平成28年度事業報告と平成29年度事業計画について報告を行い、くすり博物館の企画展示「田代売薬」を見学した。第2回は3月29日に開催し、くすり博物館の肥前さが明治維新150年博覧会サテライト展示の視察を行った。

② 勝尾城筑紫氏遺跡保存整備委員会は、第1回を11月7日に開催し、今後の整備方針ならびに葛籠城跡地区の整備計画について検討を行った。第2回は2月19日に開催し、平成29年度事業の報告と今後の保存整備事業について討議した。また、地元協議会を3月26日に開催し、平成28年度事業報告と平成29年度事業計画を報告した。



A.文化財防災訓練（今泉町天満神社）



B.268号機関車一般公開



C.古文書講座



D.常設展示「国史跡 勝尾城筑紫氏遺跡」



E.勝尾城筑紫氏遺跡見学会（春）



F.勝尾城筑紫氏遺跡保存整備シンポジウム

平成29年度確認調査により遺構・遺物を検出した地点

	遺跡名	原因者	開発目的	開発予定地	工事面積(m ²)	調査面積(m ²)	調査期日	結果	備考
1	儀徳遺跡	(有)太陽不動産	遺跡の有無	儀徳町3021	864	28	5月11日	小穴	計画決定後、届出
2	加藤田遺跡	鹿毛不動産	遺跡の有無	加藤田町3丁目170-2	225	10	5月12日	小穴、土坑	計画決定後、届出
3	安永田遺跡	個人	遺跡の有無	柚比町278他	410	28	5月17日	小穴、甕棺	計画決定後、届出
4	内畑遺跡	個人	個人住宅	元町1098-3	114	7	5月19日	小穴	遺構に影響を及ぼさないため慎重工事
5	姫方遺跡	個人	遺跡の有無	姫方町221-3	207	12	5月23日	小穴	計画決定後、届出
6	小原遺跡	日本薬品(株)	遺跡の有無	大正町716-1他	2,638	21	5月29日	土坑・小穴	計画決定後、届出
7	田代代官所跡	アールイー・パートナーズ(株)	遺跡の有無	田代大官町370-2他	657	17	6月6日	小穴、溝	計画決定後、届出
8	牛原館屋敷遺跡	個人	個人住宅	牛原町872番5他	324	13	7月5日	土坑	遺構に影響を及ぼさないため慎重工事
9	姫方遺跡	個人	遺跡の有無	姫方町318番地	1,241	74	7月11日	小穴・土坑・溝	計画決定後、届出
10	今泉遺跡	個人	遺跡の有無	今泉町2620-6他	823	47	7月26日	小穴	計画決定後、届出
11	藤木遺跡	個人	個人住宅	藤木町1143-1	361	12	8月23日	小穴・土坑・溝・甕棺	遺構に影響を及ぼさないため慎重工事
12	今泉遺跡	個人	個人住宅	今泉町2562-7他	192	5	10月5日	小穴	遺構に影響を及ぼさないため慎重工事

	遺跡名	原因者	開発目的	開発予定地	工事面積(m ²)	調査面積(m ²)	調査期日	結果	備考
13	四ツ木遺跡	国土交通省 九州整備局	国道拡幅	曾根崎町	4,560	105	10月16日	溝、小穴	31年度以降本調査
14	今泉遺跡	個人	個人住宅	今泉町2561番1他	410	10	10月25日	小穴	遺構に影響を及ぼさないため慎重工事
15	内畑遺跡	西鉄不動産(株)	遺跡の有無	元町1088-4	971	20	11月7日	土坑・小穴	30年度本調査済
16	今泉遺跡	(有)太陽不動産	遺跡の有無	今泉町2641-4	537	16	11月28日	小穴	計画決定後、届出
17	麓遺跡	個人	集合住宅	原古賀町660-0他	478	15	11月29日	小穴	遺構に影響を及ぼさないため慎重工事
18	本原遺跡	国土交通省 九州整備局	国道拡幅	原町	4,375	70	12月4日	土坑・小穴	31年度以降本調査
19	天神木遺跡	個人	遺跡の有無	鎗田町314-1	679	103	1月23日	円形周溝遺構、小穴	計画決定後、届出
20	内畑遺跡	日山ホーム(株)	遺跡の有無	元町1103-7他	847	36	2月21日	土坑・小穴	計画決定後、届出
21	藤木遺跡	個人	個人住宅	藤木町970-1	186	8	2月28日	溝	遺構に影響を及ぼさないため慎重工事
22	藤木遺跡	個人	個人住宅	藤木町1142番2	275	10	3月12日	溝	遺構に影響を及ぼさないため慎重工事

内畑遺跡（5区）

【所在地】元町字内畑 1088 番 4

【遺跡の時代】弥生時代、古墳時代

【種類】集落跡 【調査面積】200 m²

【事業の原因】集合住宅建設

【調査の期間】平成 30 年 5 月 21 日～6 月 25 日

【調査の概要】

本遺跡では、過去に1～4区の調査が実施され、甕棺墓を中心とした墳墓群および弥生時代～古墳時代の集落関連遺構が確認されている。

本調査区は5区となり、轟木川左岸、標高約 18mの低位段丘上に立地する。調査区北側には長崎街道が通り、西側の3・4区では江戸時代の溝も確認されている。

調査の結果、弥生時代の土坑1基、古墳時代の住居跡1軒、時期不明の土坑2基、掘柱建物跡1棟を確認している。弥生時代の土坑は平面形が楕円形で長軸 120 cm×短軸 80 cm、深さ約 50 cmを測り、埋土中から壺の口縁部と丹塗り高坏の脚部、底面付近から壺もしくは甕の底部等が出土している。住居跡は北壁中央にカマドが付設された、一辺が約 3.5mの方形の古墳時代後期の竪穴住居である。上面が削平されているため残存状況は悪く、床面までの深さは5cm前後でありカマドの上部構造も不明である。遺物は土師器小型甕、須恵器杯身、甕の胴部等が出土している。

また、掘立柱建物跡の柱の中心間隔は約1m、出土遺物は土師器の破片が少量出土するのみで、時期は不明である。柱穴の平面形は円形、規模は直径 35 cm前後、深さは 50 cm前後を測る。柱痕跡は確認できていない。



右：内畑遺跡全景（南から）
左上段：掘立柱建物跡（上が北）
左下段：住居跡（南東から）

平成29年度市内確認調査位置図



小都市

0m 500m 1000m 1500m 2000m

2. 平成30年度事業計画

(1)調査

- ① 市内各地に分布している埋蔵文化財について、開発に際し事前の確認・試掘調査を実施して開発との調整を図り、その保護に努める。
- ② 民間開発に伴う埋蔵文化財発掘調査を実施し、整理・報告書を刊行する。平成29年度に確認調査を実施し遺構を確認した内畑遺跡について、本調査の実施および整理・報告書の刊行を行う。
- ③ 文化資源充実事業について、調査手法の検討を進め、可能なところから調査や資料の収集を行う。

(2)保護・管理

- ① 文化財の保存管理として、国・県・市指定文化財を中心に史跡・民俗芸能等に対し、所有者や地元団体に委託あるいは補助金の交付を行うとともに、道具類の補修・新調に対する補助を必要に応じて行い、これらの保存に努める。
- ② 史跡等の保全管理について、下草刈りや雑木の伐採、あるいは案内板の点検等を適時行い、見学者の利便を図る。
- ③ 過去の調査で出土した遺物類や記録、あるいは市誌編纂事業の過程で収集した資料の取り扱いについて、整理を進めるとともに、保存活用方法の検討を行う。
- ④ 整理室の再編と収蔵遺物の再整理を継続して行う。

(3)啓発・普及

- ① 文化財常設展示を鳥栖市立図書館で継続して行う。
- ② 田代太田古墳・ヒャーガンサン古墳・268号機関車等の一般公開、勝尾城筑紫氏遺跡の見学会等の開催、小中学校における総合的な学習の支援、一般向けの出前講座等により、広く郷土の歴史・文化や文化財の周知・理解に努める。
- ③ 市民を対象にした「鳥栖のまちづくりと歴史・文化講座」「郷土資料講座」を開講する。歴史・文化講座は、「幕末期の鳥栖市域」をテーマとして全5回の座学と現地見学を行う〈P8〉。郷土資料講座は、市内の古文書を教材として初心者コースと中・上級者コースを開講する。
- ④ 歴史と文化財を活かしたまちづくりを目指して、市民と協働した「ふるさと元気塾」を開講し、史跡ガイドの育成等に努める。

⑤ 鳥栖市明治維新150年記念事業の一環として、講演会・シンポジウムを開催する。

(4)勝尾城筑紫氏遺跡

- ① 史跡整備基本計画に基づき、葛籠城跡地区の公有地化を進める。
- ② 史跡の保全管理を行う。
- ③ 遺跡の積極的な公開活用について検討する。その一つとして市民との意見交換を図る。
- ④ 葛籠城跡地区の整備基本設計に向けた準備を行う。

平成30年度鳥栖のまちづくりと歴史・文化講座年間計画

回	日時	内容	会場／集合
1	6月16日(土) 13:30～15:30	「専売制度と仙八さん騒動」 ■講師 藤瀬 禎博 氏(鳥栖郷土研究会)	鳥栖北まちづくり 推進センター
2	7月28日(土) 13:30～15:30	「尊王攘夷と田代領」 ■講師 藤瀬 禎博 氏(鳥栖郷土研究会)	鳥栖北まちづくり 推進センター
3	11月11日(日) 8:30～17:00	「佐賀市周辺の史跡探訪」 (見学先)江戸時代と明治維新関連	鳥栖市役所 職員玄関前
4	12月16日(日) 8:30～17:00	「唐津・武雄方面の史跡探訪」 (見学先)江戸時代と明治維新関連ほか	鳥栖市役所 職員玄関前
5	1月19日(土) 13:30～15:30	「幕末期長崎街道を通った人々」 ■講師 藤瀬 禎博 氏 (鳥栖郷土研究会) ／長崎街道元気隊	鳥栖市立図書館

鳥栖市明治維新150年記念事業 講演会・シンポジウム

日時	内容	会場
9月2日(日) 13:30～15:30	「地方からの産業革命 -九州鉄道会社を中心に-」 ■講師 中村 尚史 氏(東京大学社会科学研究所教授)	鳥栖市立図書館
9月30日(日) 13:30～15:30	「世界へ目を向けた木蠟(燻蠟)業者の挑戦 -鳥栖の燻蠟を中心として-(仮)」 ■講師 後藤 正明 氏(福岡大学研究推進部古文書室)	鳥栖市立図書館
11月18日(日) 13:30～15:30	「鳥栖を支えた産業 -配置売薬-(仮)」 ■講師 山本 長次 氏(佐賀大学経済学部教授)	鳥栖市立図書館